

第5章 資源を活かして活力を創造するまち（産業・雇用）

第1節 魅力ある農林業のまち

1. 農業

〔現状と課題〕

本市の農業は、恵まれた自然条件などを活かして、水稻を始め、玉ねぎ、イチゴなどの野菜、柿やいちじくなどの果樹といった様々な農業経営が行われ、新鮮で良質な農産物を安定的に提供しています。しかし、高い兼業化率と農業従事者の高齢化が進み、農業経営における後継者不足が深刻な問題となっています。

このため、遊休地も増加し、加えて有害鳥獣による農産物の被害も多く、農地の維持・管理が課題となっているため、農地中間管理機構を活用し、担い手への農地の集積と集約を促進しています。

農業の担い手確保のために魅力的でやりがいのある産業とするため、農業経営や新規就農のための支援策を実施し、安定した農業経営と有効的な農地の活用が必要となります。

特産品である富有柿についても後継者不足の現状にあり、県や関係機関と連携し、新規就農者の確保及び育成に努めています。

さらに、次世代を担う子どもたちに食の安全を確保し、食の大切さへの理解を深めるため、食農教育を推進し、人材育成を行う必要があります。

また、農産物・農産加工品のブランド化を進めていますが、今後は交流活動や企業との連携も視野に入れながら農業の6次産業化^{*}を進めていくことが課題となります。

■経営耕地面積

単位：ha・戸

	H12年	H17年	H22年	H27年
田	1,171	986	957	927
畑	83	64	133	73
樹園地	456	401	366	322
総面積	1,710	1,450	1,455	1,323
農家数	2,447	2,254	2,085	1,809
一戸当り (ha/戸)	0.70	0.64	0.70	0.73

資料：農林業センサス

〔施策の基本方針〕

特産品である富有柿を始め、農業は本市における主要な産業の一つであり、基盤整備を充実し、認定農業者への農地の集約化や集落営農を推進することによって経営基盤を安定させることが重要です。

このためには、担い手の育成を図るとともに、高付加価値の農産物や農産加工品の研究・開発など、農業の6次産業化を推進することで農業経営の安定化と収益の増加を図ります。

また、有害鳥獣による農作物の被害が多く捕獲などの対策に努めます。

^{*}6次産業化…農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするもの。

〔主要施策と主な事業〕

（1）農業基盤を整備します

- ほ場や排水路、農道など、農業基盤を整備するとともに、農地の健全な維持に努めます。

■主な事業	○農業生産基盤整備事業
--------------	-------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
多面的機能支払交付金事業実施団体数	39団体/年	41団体/年	
中山間地域等直接支払制度に基づく協定集落数	9集落/年	10集落/年	

（2）農業経営の安定化と農業担い手の確保・育成に努めます

- 認定農業者の増加を図り、農地の集約を進め安定した農業経営を支援します。
- 市内農産物のブランド化を図るとともに地産地消を推進し、安全・安心な農産物の付加価値向上を図ります。
- 農業関係団体などと連携して、新規就農者の確保と育成に努めます。
- 就農のための支援のほか、営農者への各種指導や支援を継続的に行います。
- 有害鳥獣から農産物を守るため、防護や捕獲を推進します。
- 遊休農地を把握し、農地中間管理機構との連携による貸し付けを推進して効果的な活用を図ります。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○農業経営基盤強化事業 ○農地利用集積事業 ○安全・安心な農産物生産の支援と地産地消の普及・推進事業 ○人・農地プラン作成・更新事業 ○農産物育成支援事業 ○農業経営体育成支援事業 ○新規就農者支援事業 ○鳥獣被害防止対策事業 ○遊休農地調査
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
認定農業者数	39人	50人	累 計
農地集積率	19.1%	40.0%	利用権設定面積÷ 全農地面積
新規就農者数	11人	23人	累 計
遊休農地面積	5.0ha	4.7ha	累 計

(3) 農業の6次産業化を推進します

- 特色ある農産物のブランド向上、市場性のある農産物の研究開発を進めるなど、付加価値の高い生産振興を図ります。
- 高付加価値商品の研究・開発を行うため、企業や教育機関などと連携し、地元農産物などを活用した6次産業化に向けた支援を行います。

■主な事業	○農産加工品の開発・販売事業 ○高付加価値型農業の推進
--------------	--------------------------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
特産品の開発品目数	-	5品目	累 計
高付加価値商品の研究開発件数	-	2件	累 計



2. 林業

〔現状と課題〕

近年においては、担い手不足や従事者の高齢化、木材価格の低迷により、後継者、新規参入者が不足し、管理が行き届いていない山林が増え、大きな課題となっています。本市の民有林においても、所有者が高齢や遠方に住んでいるために管理ができない山林や、所有者の分からない山林が散見されるようになり、森林管理が困難となっています。市内林業事業者では、森林経営計画が立てにくく、安定した仕事の確保が困難となり人手も不足しています。

このような状況の中で安定した林業経営を行うには、行政と事業者が連携し、山林所有者に対して森林整備への理解を求め、林道などの整備を行い、森林施業のしやすい環境を整え、国、県の施策を活用し林業の担い手を育成することが重要です。

■林業経営体数と経営面積

単位：経営体・ha

	H17年	H22年	H27年
経営体数	83	53	33
経営面積	4,891	6,050	5,055

資料：農林業センサス

〔施策の基本方針〕

国、県、市と林業事業者が連携して林業の作業環境を整え、森林保全を推進します。同時に、山林所有者の理解を求め、間伐など山林保全のための作業を進めます。

林道橋については林道施設長寿命化計画に基づき整備を行います。

また、森林資源の価値を多角的に見直し、観光・交流資源としての活用やバイオマス[※]発電への活用など、新たな利用を開拓し、有効活用を図ります。

〔主要施策と主な事業〕

（1）林業基盤を整備し、森林の保全と有効活用を推進します

- 国や県との連携を強化し、林道の開設・改良・舗装など整備を推進します。
- 橋梁などについては、点検結果に基づいた補修に努め、林道橋の機能や耐久性などの回復を図ります。

■主な事業	○林道の開設・改良事業 ○林道橋梁補修事業
-------	--------------------------

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
林道舗装率	73.6%	76.0%	林道の舗装済延長 ÷林道の実延長

※バイオマス…生物資源 (bio) の量 (mass) を表す言葉で、「再生可能な、生物由来の有機性資源 (化石燃料は除く)」のことを呼ぶ。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と言う。

(2) 林業事業体の経営の改善・発展を支援します

- 市内事業体と連携し、森林整備推進会議を開き、森林の保全と活用のための森林整備を推進します。
- 国や県が実施する就業対策事業を活用し、林業担い手の確保と育成を推進します。
- スギやヒノキなど市内で生産される大径木のブランド化を図り、林業グループを育成・支援します。

■主な事業	<input type="radio"/> 林業グループ運営活動育成事業 <input type="radio"/> 間伐事業 <input type="radio"/> 獣害防除事業
--------------	--

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
間伐実施面積	113.84ha/年	120.0ha/年	
獣害防除実施面積	80.87ha/年	85.0ha/年	

(3) 森林資源の価値を見直し、有効に活用します

- 淡墨公園周辺の森林整備を始めとして、観光や交流の視点から森林整備を推進します。
- 計画的な間伐による森林資源の保全に努め、バイオマスなどに利用し、森林資源の有効活用を図ります。

■主な事業	<input type="radio"/> 森林資源の有効活用（観光・交流） <input type="radio"/> 利用間伐促進事業
--------------	--

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
利用間伐実施面積	63.42ha/年	67.0ha/年	



第2節 活力ある商工業のまち

1. 商工業

(現状と課題)

本市の工業は、景気の動向による影響を受けやすく、経営基盤が脆弱な中小企業が多いため、既存企業の経営の安定化と健全な育成を図るとともに、工業の一層の発展に向けて、工業団地を整備し、企業誘致に取り組んでいます。既存企業の経営の安定化と健全な育成を図るとともに、今後は、東海環状自動車道 の開通によって整備される交通基盤を活用し、優良企業の誘致を推進するとともにインターチェンジ周辺を産業拠点として整備する必要があります。

商業では、大型店舗やインターネット販売、産地直送など販売手法が多様化し、地域に密着した個人商店などは多様な消費者ニーズへの対応が遅れるなど衰退の傾向にある中で、商工会を中心に商業活性化に向けた取り組みが必要です。

■製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額

単位：事業所・人・万円

	H20年	H21年	H22年	H24年	H25年
事業所数	111	107	99	98	92
内従業者数30未満	83	80	72	68	62
従業者数	3,805	3,721	3,640	3,615	3,603
製造品出荷額	8,316,725	7,415,811	7,235,440	6,957,317	7,146,252
内その他収入額	279,757	254,428	226,159	341,687	363,823

資料：工業統計調査

■商店の事業所数、従業者数

単位：事業所・人

	H19年	H21年	H26年
事業所数	510	479	406
内従業者数5未満	270	248	190
内従業者数10未満	418	374	306
従業者数	3,877	3,576	3,284

資料：経済センサス



(写真提供：岐阜国道事務所)

〔施策の基本方針〕

本市における誘致企業は、重要な就労の場です。今後も企業誘致を進めるとともに誘致企業の定着を図り、市内の中小事業者など関連する産業振興に努めます。

商業については、大型商業施設を中心とした商業空間の形成を促進し、市民にとって身近な個人商店などの小規模企業を支援するため、事業の持続的な発展に向けた取り組みを支援し、活性化に努めます。

〔主要施策と主な事業〕

（１）企業誘致を促進するとともに、地域工業の振興に努めます

- 優良な企業の誘致に努め、地域の産業振興を図ります。
- 小規模事業者を支援するため、融資制度の普及を図り、活用を促進します。

■主な事業

- 優良企業誘致事業
- 中小企業経営安定化貸付事業

（２）地域商業の活性化を図ります

- 魅力ある店舗づくりなど地域の実情に即した商業を支援します。
- 商工会と連携し、起業や事業改善に向けた取り組みを行い、商業の活性化を図ります。
- 小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

■主な事業

- 小売業者経営安定化事業
- 商工会活動支援事業



2. 雇用・労働

〔現状と課題〕

急速な人口減少社会への移行、長引く厳しい経済雇用情勢の中にあつて、非正規雇用で働く若者が増加するなど問題が生じています。

市民意識調査では、雇用対策・労働環境について改善要望が高く、特に若い世代の就労の場やより魅力ある職種の創出が望まれています。

本市においては、就職就学期にあわせた人口流出も多く、若年層の流出を抑制し、新たな労働人口を確保するうえでも、雇用の充実を図ることが極めて重要になります。

また、企業の求める人材を確保するために、就業に向けた取り組みも重要な課題です。

ライフスタイルの多様化などにより、心の豊かさやゆとりを重視した生活の実現が求められているため、男女の役割分担の見直しや子育てと仕事の両立、勤労福祉の充実への要望も高く、今後、女性の知識や経験などを活かした職種の創出や起業促進が求められます。同時に、仕事と家庭の両立が可能な労働環境を整備するワークライフバランス[※]の普及が求められます。

こうした市民ニーズに的確に対応するため、健全な労働力の確保や労働環境の向上を促進する必要があります。

〔施策の基本方針〕

製造業を中心とした企業への就労は、事業者にとっても、地域社会にとっても重要な課題であり、市内企業への就職支援を重点的に行います。

また、若者や女性の知識や技術などを活かした起業を支援する取り組みを進め、魅力ある職種・職場の創出を支援します。

安定した雇用を確保するため、労働環境の改善を促進し、介護や子育てに関して女性の就労支援を継続して行います。

〔主要施策と主な事業〕

〔1〕雇用に関する情報の提供や雇用機会の拡大に努めます

- 若者をターゲットとした市内企業への就職支援を推進し、優秀な人材確保に努めます。また、新たな産業の創出や既存企業の発展を目指す取り組みも展開します。
- 求人情報の提供を継続し、市民が求人情報を得る機会を確保します。
- 誘致企業への雇用奨励金や新規雇用給付など、企業の安定的な雇用を支援します。
- シルバー人材センターの活用を推進し、高齢者の雇用機会を提供します。

■主な事業

- 市内企業セミナーの開催
- 創業支援事業計画策定事業
- 若者向け総合セミナーの開催
- 求職者に対する情報提供事業
- シルバー人材センターなどの活用
- 優良企業誘致事業
- 新規雇用促進事業

※ワークライフバランス…働く人が、「仕事」と、育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
起業支援件数	7件	14件	累計
起業セミナー開催数	—	3回/年	

(2) 女性の起業を支援します

- 女性の感性や能力を引出し、活躍の機会を創出するための起業支援に努めます。

■主な事業	○女性の起業支援事業
-------	------------

(3) 地域社会で、女性が働きやすい労働環境を整えます

- 子育て支援や介護制度の充実を図ることにより、女性が働きやすい就労環境づくりに地域社会で取り組みます。
- 職場や家庭において、女性の就労に関する理解を促進します。

■主な事業	○介護サービスの充実 ○病児・病後児保育事業（再掲） ○通常保育、延長保育、広域保育、障がい児保育、3歳未満児保育事業（再掲）
-------	---

(4) 労働環境の向上を促進します

- 市内に立地する企業や事業者に対し、労働環境の向上を促進します。
- 生活資金の融資など、勤労者の支援に努めます。
- 結婚・出産・子育てに対して積極的に支援する企業の取り組みを促進します。

■主な事業	○結婚子育てアドバンス企業認定事業 ○勤労者支援事業 ○労働環境の向上などに向けたPR事業
-------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
結婚・子育てアドバンス認定企業数	—	20社	累計



第3節 交流資源を活かして産業を創造するまち

1. 観光

(現状と課題)

本市は、市域の8割以上を占める森林や清流根尾川など豊かな自然環境に恵まれ、天然記念物である淡墨桜を始めとした四季折々の魅力ある観光資源、それらの資源を活用した様々なイベントなどを開催しています。

能郷の能・狂言や真桑人形浄瑠璃を始め伝統的な祭礼などを後世に継承していく必要があります。

本市では、観光振興を図るため観光協会と連携し、観光客の受け入れや観光PRの強化のため、インターネット環境に即した情報発信ツールの導入などを実施し、市の魅力を最大限に発信する取り組みを進めています。

また、従来の観光資源に加え、農業や産業団体と連携し、体験型観光を充実させ、交流人口の拡大を図る必要があります。

今後は、(仮称)糸貫インターチェンジの開通を見据え、観光資源の発掘、活用を図り地域間交流を活発にし、誘客促進に努める必要があります。

■観光入込客数

単位：人

	H23年	H24年	H25年	H26年
NEOキャンピングパーク	14,320	12,367	14,953	13,192
糸貫川プール	40,958	38,199	40,140	26,644
道の駅「淡墨桜の里ねお」	44,152	42,583	42,125	38,291
うすずみ温泉	83,250	90,131	90,475	87,500
淡墨桜	249,000	237,000	232,000	258,500
道の駅「織部の里もとす」	369,037	342,793	345,817	360,988
根尾川花火大会	30,000	30,000	40,000	25,000
もとす産業祭	30,000	33,000	40,000	35,000
計	860,717	826,073	845,510	845,115

資料：観光入込客統計調査



〔施策の基本方針〕

豊かな自然環境や歴史的な地域資源を活かした観光施設の充実と、観光協会を中心とした観光推進体制の確立を図りつつ、市の魅力をより広くPRし、流入人口の増加に努めます。

また、農業体験などと観光を組み合わせた新たな観光資源の発掘に努め、来訪者が満足できるよう観光振興に努めます。

〔主要施策と主な事業〕

（1）多様なメディアを活用した観光プロモーションを推進します

- インターネットによる観光PRはもとより、観光施設でのガイドアプリ[※]による情報発信、パンフレットやガイドブックにより本市の観光情報を多様なメディアを通じて発信します。
- 県や隣接市町と連携し、新たな観光ルートを設定し、広域的な観光客誘致を促進します。
- パンフレットやアプリ情報などの外国語版を充実するほか、西美濃広域観光推進協議会と連携して外国人観光客の誘致に努めます。
- イベントも重要なプロモーションの機会であり、イベントを通して本市の魅力を発信します。

■主な事業	○地域資源とインターチェンジを活用した観光振興事業 ○県、隣接市町の連携による観光ルートの設定 ○広域観光事業及び地域間交流による誘客事業
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
主要観光施設入込客数	84万人/年	87万人/年	

（2）自然環境を活かした健康・保養地づくりに取り組みます

- 豊かな自然環境を活かした森林セラピー[※]と、温泉や宿泊・サービス・体験施設、自生する薬草や地域の歴史文化を基盤とした健康・保養地づくりを推進します。

■主な事業	○温泉・宿泊・食などを通じた保養地づくり ○セラピーロード観光推進事業 ○観光資源発掘事業 ○魅力最大化誘客促進事業
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
健康・保養地づくり交流人口	—	2,200人	累 計
健康・保養地としての企業連携数	—	2社	累 計

※アプリ…アプリケーション・ソフトウェア（application software）の略称。パソコンやスマートフォンなどで、用途に応じて使うために作られたソフトウェア。

※森林セラピー…森を楽しみながら心と身体の健康維持・増進、病気を予防することを目的とし、医学的に裏付けされた森林浴効果のこと。

(3) 市民との協働による観光客受入れ体制の充実を図ります

- 観光拠点への案内サインを充実することで観光客に向けた情報を的確に提供します。
- 案内サイン、看板、パンフレットなどの外国語による表記やインターネット回線を利用した観光案内など、各種メディアを活用し、外国人観光客にも分かりやすい観光情報の提供に努めます。
- 語り部ボランティアを充実することにより、市民との交流を通して観光客の満足度を高めます。
- 商工会など関連団体や市民グループと連携し、観光資源を活かした特産品などの開発を促進します。

■主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○観光案内板整備事業 ○観光情報発信強化事業 ○特産品づくり支援事業 ○観光ボランティア育成支援事業
--------------	---

■事業評価指標			
項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
観光ガイドアプリと連動した案内看板設置数	3基	13基	累計
主要観光施設におけるWi-Fi [※] 設置箇所数	1か所	5か所	累計
観光ボランティア数	12人	15人	累計



※Wi-Fi…パソコンやスマートフォン、タブレットなど、インターネット接続に対応した機器を、無線でLAN (Local Area Network) に接続する技術のこと。

2. 東海環状自動車道

〔現状と課題〕

東海環状自動車道（仮称）糸貫インターチェンジの開通は、物流を促進するだけでなく、人の流れを促すことも期待されます。この交通基盤の整備を最大限に活用し、本市の新しい産業振興への取り組みが求められます。

道路交通における利便性を活用し、新たな企業誘致などによる産業拠点としての整備が求められます。

また、既存の大型商業施設と地元商店との連携が必要となっています。



〔施策の基本方針〕

東海環状自動車道の整備を契機に工業団地を中心とした産業拠点として企業及び関連事業所の集積を促進します。そして、誘致企業と地域とのつながりをつくり、本市への定着度を高めるとともに、そこから誘発される市内事業者の事業開発に寄与する取り組みを支援します。

また、東海環状自動車道による交流人口の拡大を促進し、観光サービス業や製造業、生産に関する新事業開発や起業促進を図ります。

さらに、異業種交流などを積極的に行い、経済の市内循環のための取り組みを推進します。

〔主要施策と主な事業〕

（1）東海環状自動車道を活用した拠点開発を進め、地域内起業を促進します

- 東海環状自動車道を活用し、流通業などの企業誘致を推進します。
- 交流人口の拡大に対して、観光サービス業などの起業支援を行います。

■主な事業

企業誘致事業

（2）交流を活かして地域内産業の活性化を促進します

- 企業誘致や交流人口拡大による経済的効果を市民が得るために地元企業が行う新たな取り組みを支援し、経済の市内循環を高めます。

■主な事業

地元企業支援制度の創設

異業種交流事業

■事業評価指標

項目	現状値 (平成26年度末)	目標値 (平成32年度末)	算出方法
異業種交流事業件数	2件	8件	累計